

第7次総合計画 基本構想の骨格

政策の柱の立て方
めざすまちの具現化や重点テーマに取り組む上で、具体的にどのようなまちとしていくかを横串の視点で表した。

めざすまちの将来像

めざすまちのキーワード
まるごと元気・人財育成・ひとの“わ”
7次総重点テーマ
子ども・女性

- “多治見ならではの” “多治見らしさ”
- 様々な施策・資源の有機連携
- 能力・気力ある人財（高齢者・女性）
- 防災・防犯における人のつながり＝共助
- 郷土愛を育む教育
- 子どもの貧困、ひとり親世帯の貧困
- 女性・高齢者が働きやすく、働き続けられる取組（活躍支援）

長期ビジョン

20年後、30年後の多治見市
人口減少と地域経済縮小の克服
自治体間連携の強化

ひとの“わ”が表現する意味
「話」…対話、コミュニケーション
「輪」…つながり、きずな
「和」…調和、思いやり、協力、和み
「環」…循環、ひろがり、継続

政策の柱

1 安心して子どもを産み育てられるまちづくり

- 仕事と育児の両立支援
- 産み育てる環境の充実のための支援（男性への支援含む）
- インクルーシブ教育の推進
- 身近な保育園・幼稚園での子育て相談・サポート事業
- 中学校全学年の少人数学級実現

- ・ 育児と仕事の両立（仕事と生活の調和）
- ・ 教育環境の充実
- ・ 妊娠、出産への支援
- ・ 子育て、親育ち

2 健康で元気に暮らせるまちづくり

- シニア世代がいいきと過ごし、社会貢献できる場の具体的な提供
- 高齢者の活用方法を広げる（例：TGK48）
- 誰もが住みやすいまちには、障がい者視点でのまちづくりが必要
- 各種検診の受診率向上の工夫

- ・ 健康づくり
- ・ 高齢者の生きがいづくり
- ・ 障がい者への支援
- ・ 医療環境の充実
- ・ スポーツ振興

3 にぎわいと活力のあるまちづくり

- 企業誘致の継続と既存企業の域外流出防止
- 駅周辺、中心市街地のにぎわい
- 美濃焼のブランド力向上と地場産業振興
- 観光誘客への広域的な取組と、ターゲットの明確化
- 外国人観光客の受け入れ態勢
- 歴史・文化（やきもの）の再認識

- ・ 女性の活躍支援
- ・ 駅周辺の整備（ｺﾝﾊﾞｰﾄｼﾃｲ）
- ・ 企業誘致、起業支援
- ・ 地場産業、中心市街地活性化
- ・ 観光誘客（国内、海外）
- ・ 文化、芸術の振興

4 安全・安心で快適に暮らせる魅力あるまちづくり

- 空き家対策（原因分析と対策）
- 公共交通の整備促進（路線バス）
- 慢性的な渋滞への対策（国道、市街地）
- 人のつながりが地域防災力向上には重要
- 公園の維持管理

- ・ 道路網の充実
- ・ 郊外団地と中心部を結ぶ交通手段の確保
- ・ 防災対策の推進
- ・ 環境保全の推進
- ・ 快適な居住環境の整備
- ・ 消防・救急体制の充実

5 だれもが学び合い、助け合うまちづくり

- 自治会加入率の低下
- 若者の参加機会の創出
- 市民活動と行政との連携促進
- NPOを活用した事業の促進
- 市の政策を知ってもらい共助の意義を認識（＝おとどけセミナーの積極展開）

- ・ 自治組織による共助
- ・ 市民活動の活発化（ボランティア、NPO等）
- ・ 生涯学習の推進
- ・ 政策形成への市民参加

政策の柱を支える土台

政策を実現させる
行財政運営

- 市民が安心して暮らし続けられることの追及が行政の役割
- 老朽化した施設やインフラの整備の整備方針
- 行政がすべてのサービスを提供することは困難な時代（選択と集中）
- 市民自らがやるべきことを認識
- 人口減少、少子化、高齢化や厳しい財政状況の中、現在のサービス水準の維持が求められている

- ・ 職員の能力向上
- ・ 健全財政の維持
- ・ 行政の改革
- ・ 市有施設総合管理

枠内
市民委員会など
からいただいた
意見の集約